

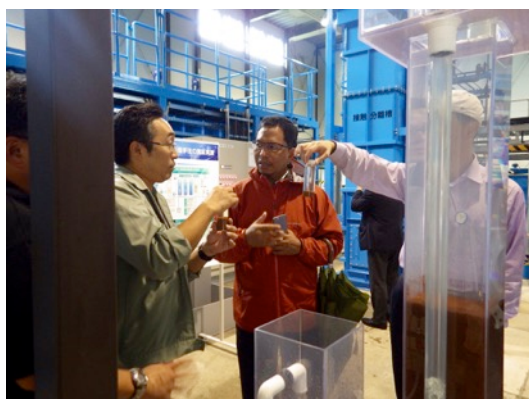
Zaini Ujang 客員教授(マレーシア エネルギー・グリーン技術・水省 事務次官)による特別講義を実施しました

2016年9月18日、Zaini Ujang 生命環境系客員教授(マレーシア エネルギー・グリーン技術・水省事務次官、前マレーシア高等教育省事務次官、前マレーシア工科大学(UTM)学長)による特別講義が開催されました。本講義は、筑波大学主催 Tsukuba Global Science Week (TGSW) のセッションの一つとして行われました(コーディネーター:生命環境系内海真生准教授)。

「From Ecology to Eco-Strategy: Shaping the Sustainability Pathways in Developing Nations」と題した講義では、環境と経済の win-win 関係を通じて持続的発展を実現するための社会設計のあり方を提示し、創造的かつイノベーティブな環境保全・利活用、それを可能にする教育・研究についてのビジョンも言及されました。国内外から50名を越す会場満席の参加を得て、質疑応答では、多様な文化的背景や高等教育の役割などについて、活発な議論が展開されました。

Zaini Ujang 客員教授は、UTM 学長在任時に生命環境系と学術交流協定を締結するなど、UTM およびマレーシア日本国際工科院(MJIIT)と本学との連携推進に尽力されてきました。今回の訪問でも、Ahmad Fauzi Ismail UTM 研究イノベーション担当副学長および Rubiyah Yusof MJIIT 院長とともに、ベントン国際担当副学長、東特命教授、松本生命環境系長ほかと懇談を行い、TGSW 期間中に締結された Campus-in-Campus 協定を通じた両大学および両国のさらなる連携強化について意見交換を行いました。

また滞在中には、霞ヶ浦浄水場(高度水処理プラント)、および国土交通省首都圏外郭放水路(洪水災害対策)を視察されました。



写真左上・右上:特別講義の様子

左下:霞ヶ浦浄水場、右下:首都圏外郭放水路地下調圧施設(左から:金澤江戸川河川事務所長、甲斐田システム情報系助教、Zaini 次官、内海生命環境系准教授、浅沼生命環境系教授)